

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 佐渡汽船株式会社

コード番号 9176 URL <http://www.sadokisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小川 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 尾崎 弘明

TEL 025-245-2311

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	9,195	△1.5	97	△62.2	22	△89.5	△217	—
25年12月期第3四半期	9,335	3.5	257	△47.5	218	△54.7	146	△66.5

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △221百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 161百万円 (△63.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△15.39	—
25年12月期第3四半期	10.42	10.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	16,289	2,661	13.7
25年12月期	16,567	2,875	14.8

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 2,235百万円 25年12月期 2,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,078	△1.1	△13	—	△90	—	△265	—	△18.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	14,275,450 株	25年12月期	14,275,450 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

26年12月期3Q	124,537 株	25年12月期	141,437 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	14,142,463 株	25年12月期3Q	14,049,264 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善が見られたものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化や、円安に伴う原材料価格や燃料油価格の高騰により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、4月に大型新造カーフェリー「ときわ丸」が就航したことから、これによる集客効果や各種割引施策により佐渡への観光客数の増加を見込んでおりました。しかしながら、消費税増税による消費マインドの落ち込みやガソリン価格の高騰、7月～8月の天候不順、更に8月の台風11号接近に伴う予約キャンセルや欠航等により、繁忙期において旅客、マイカー航送の輸送量が減少したことから、業績は前年同期を下回る結果となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は9,195,932千円（前年同期比1.5%減）、営業利益は97,404千円（前年同期比62.2%減）、経常利益は22,965千円（前年同期比89.5%減）、四半期純損失は217,672千円（前年同期は146,385千円の四半期純利益）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間において、報告セグメントの「観光」にて減損損失110,666千円を計上しております。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり、季節的変動が顕著であります。

①海運

当第3四半期連結累計期間の旅客輸送人員は1,260,217人（前年同期比2.8%減）、自動車航送台数は乗用車換算で171,992台（前年同期比1.1%減）、貨物輸送トン数は130,830トン（前年同期比11.3%増）となりました。

貨物部門においては、昨年4月に吸収合併した日本海内航汽船(株)の輸送分が加わったことにより輸送量、売上高ともに増加しました。旅客、航送部門においては、新造カーフェリー「ときわ丸」人気により旅客がジェットフォイルから「ときわ丸」へシフトしている状況が見受けられることや、増送のために割引施策等を実施したものの輸送量が伸び悩んだことにより売上高が減少しました。また、費用面においても原油価格の高騰と円安に伴う輸入価格の上昇により、船舶燃料費が前年同期を大幅に上回りました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は6,185,740千円（前年同期比1.8%減）、セグメント利益（営業利益）は30,704千円（前年同期比81.2%減）となりました。

②一般貨物自動車運送

消費税増税に伴う駆け込み需要とその反動があるものの、佐渡産米等の主要品目の輸送が堅調に推移したため売上高は増加しましたが、車両の入替に伴い減価償却費が増加したこと、燃料油価格の上昇に伴い燃料費が増加したこと等により費用が増加しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,296,138千円（前年同期比2.9%増）、セグメント損失（営業損失）は23,656千円（前年同期は2,643千円のセグメント利益（営業利益））となりました。

③売店・飲食

観光客数の減少に伴い売上高は減少しましたが、費用面においては前連結会計年度末に同セグメントにおいて減損損失を計上したことに伴い減価償却費が減少したことから増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は993,209千円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益（営業利益）は18,753千円（前年同期比31.0%増）となりました。

④観光

費用面においては前連結会計年度末に同セグメントにおいて減損損失を計上したことに伴い減価償却費が減少しましたが、観光客数の減少に伴い売上高が減少したことから減益となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は560,429千円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益（営業利益）は33,155千円（前年同期比9.4%減）となりました。

⑤その他

不動産賃貸業において賃貸料収入が減少したこと、建物サービス業において清掃料収入が減少したこと等により売上高が減少しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は160,416千円（前年同期比8.6%減）、セグメント利益（営業利益）は6,353千円（前年同期比55.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ277,700千円減少し16,289,899千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ607,765千円増加し3,757,586千円となりました。これは、繰延税金資産が64,826千円減少したものの、季節的な要因により現金及び預金が506,852千円、受取手形及び売掛金が130,871千円それぞれ増加したことが要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ902,194千円減少し12,495,487千円となりました。これは、カーフェリー「ときわ丸」が竣工したこと、また現在、建造中の船舶を建設仮勘定に計上している結果、差し引きで建設仮勘定が772,164千円減少したこと及び110,666千円の減損損失を計上したことが主な要因であります。なお、カーフェリー「ときわ丸」は国庫補助金等を受けて建造しているため、圧縮記帳を行っております。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ64,266千円減少し13,627,908千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ4,587,809千円減少し4,045,353千円となりました。これは、1年内償還予定の社債が161,560千円、賞与引当金が116,256千円、その他が140,698千円それぞれ増加したものの、短期借入金が1,771,000千円、1年内返済予定の長期借入金が252,037千円、前受補助金が3,094,390千円それぞれ減少したことが主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ4,523,543千円増加し9,582,555千円となりました。これは社債が759,660千円増加したこと及び高速カーフェリー建造資金等として長期借入金が3,680,453千円増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ213,434千円減少し2,661,991千円となりました。これは、217,672千円の四半期純損失を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年9月5日に公表いたしました業績予想(連結)を平成26年11月7日に修正しております。

修正理由等につきましては、平成26年11月7日付「特別損失(減損損失)の発生及び平成26年12月期通期の業績予想(連結)の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,490,601	1,997,453
受取手形及び売掛金	752,873	883,744
たな卸資産	676,941	713,669
繰延税金資産	73,026	8,200
その他	163,775	164,273
貸倒引当金	△7,395	△9,753
流動資産合計	3,149,821	3,757,586
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	1,199,719	1,240,735
建物(純額)	3,351,458	3,146,405
土地	1,907,804	1,902,743
建設仮勘定	5,357,968	4,585,804
その他(純額)	798,195	812,091
有形固定資産合計	12,615,144	11,687,778
無形固定資産		
のれん	11,124	9,713
その他	293,867	256,735
無形固定資産合計	304,991	266,448
投資その他の資産		
投資有価証券	160,483	167,879
長期前払費用	219,124	272,373
繰延税金資産	31,609	37,801
その他	68,297	65,175
貸倒引当金	△1,967	△1,967
投資その他の資産合計	477,546	541,261
固定資産合計	13,397,681	12,495,487
繰延資産		
社債発行費	20,097	36,826
繰延資産合計	20,097	36,826
資産合計	16,567,599	16,289,899

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	390,523	460,184
短期借入金	1,975,000	204,000
1年内償還予定の社債	98,000	259,560
1年内返済予定の長期借入金	1,913,213	1,661,176
未払法人税等	31,125	72,568
賞与引当金	40,284	156,540
前受補助金	3,572,238	477,848
その他	612,779	753,477
流動負債合計	8,633,162	4,045,353
固定負債		
社債	803,000	1,562,660
長期借入金	3,306,415	6,986,868
退職給付引当金	652,143	696,093
役員退職慰労引当金	48,022	51,727
特別修繕引当金	103,943	145,644
負ののれん	1,858	—
資産除去債務	36,571	36,998
その他	107,060	102,565
固定負債合計	5,059,012	9,582,555
負債合計	13,692,174	13,627,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,135	843,135
資本剰余金	680,992	681,020
利益剰余金	978,898	761,226
自己株式	△72,176	△68,002
株主資本合計	2,430,849	2,217,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,679	18,139
その他の包括利益累計額合計	20,679	18,139
新株予約権	45,646	52,134
少数株主持分	378,251	374,339
純資産合計	2,875,425	2,661,991
負債純資産合計	16,567,599	16,289,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	9,335,638	9,195,932
売上原価	8,316,387	8,395,524
売上総利益	1,019,251	800,408
販売費及び一般管理費	761,584	703,004
営業利益	257,667	97,404
営業外収益		
固定資産賃貸料	58,886	50,515
受取利息	383	375
受取配当金	4,633	4,438
その他	40,330	53,265
営業外収益合計	104,232	108,593
営業外費用		
支払利息	111,135	96,340
固定資産賃貸費用	19,390	19,876
シンジケートローン手数料	—	45,053
その他	12,924	21,763
営業外費用合計	143,449	183,032
経常利益	218,450	22,965
特別利益		
固定資産売却益	16,279	4,833
負ののれん発生益	8,072	—
その他	514	—
特別利益合計	24,865	4,833
特別損失		
固定資産売却損	5,733	2,315
固定資産除却損	3,543	4,868
減損損失	—	110,666
特別損失合計	9,276	117,849
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	234,039	△90,051
法人税、住民税及び事業税	25,011	78,242
法人税等調整額	52,508	50,145
法人税等合計	77,519	128,387
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	156,520	△218,438
少数株主利益又は少数株主損失(△)	10,135	△766
四半期純利益又は四半期純損失(△)	146,385	△217,672

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	156,520	△218,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,400	△3,316
その他の包括利益合計	5,400	△3,316
四半期包括利益	161,920	△221,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,478	△220,212
少数株主に係る四半期包括利益	10,442	△1,542

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,298,995	1,259,350	1,024,379	577,456	9,160,180	175,458	9,335,638
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,135	257,072	22,748	339,708	624,663	139,043	763,706
計	6,304,130	1,516,422	1,047,127	917,164	9,784,843	314,501	10,099,344
セグメント利益又は損失 (△)	163,744	2,643	14,319	36,589	217,295	14,114	231,409

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	217,295
「その他」の区分の利益	14,114
セグメント間取引消去	26,258
四半期連結損益計算書の営業利益	257,667

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,185,740	1,296,138	993,209	560,429	9,035,516	160,416	9,195,932
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	247,116	35,922	309,377	592,429	156,546	748,975
計	6,185,754	1,543,254	1,029,131	869,806	9,627,945	316,962	9,944,907
セグメント利益又は損失 (△)	30,704	△23,656	18,753	33,155	58,956	6,353	65,309

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	58,956
「その他」の区分の利益	6,353
セグメント間取引消去	32,095
四半期連結損益計算書の営業利益	97,404

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「観光」セグメントにおいて、事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては110,666千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。